

2学年だより

小平市立小平第二中学校
第2学年 学年だより
第38号
令和5年2月9日(木)

【2年生もあと〇日】

2年生の教室には毎日、カウントダウンカレンダーが貼られています。2年生の終わりまで、数えられる日々となりました。生徒一人が1枚を担当し、2年生最後の日修了式まで「あと〇日」と書かれています。

2月に入り、いよいよその「〇日」も現実味を帯びてきました。今のクラス、今の教室で授業を受けられるのもあと少し。一日一日を大切に。

【スキー移動教室】

スキー教室

B組 莊保 美月

今回のスキー教室を通して私がとくに心に残ったことは二つあります。

まずは、スキー実行委員だったということです。スキー教室は去年行く予定だったため前回は実行委員だった人が多くいるなか、私は今回から実行委員になりました。実行委員では、持ち物やルールについて話し合ったり、バスの座席決めや部屋決めではクラスを中心となったりして決めました。実行委員のなかでも特に今回心に残ったことは係長をしたことです。私は整美・保健の係長をしました。係長では、係会の前に先生と何をやるのか確認をしたり、係会を進めたり、学年の前で、スキー教室で守ってほしいことを話したりするなどをしました。少し、大変なこともあったけれど最後までしっかりできて良かったです。

二つ目は、スキーの実習についてです。スキーは今まで本当に一回もしたことがなく、当日まではとても不安でした。一日目はスキー板をはく練習をしたり、スキー板をはいたまま歩く練習などをしたりしました。二日目に初めてリフトに乗って、実際に滑りました。そのときは難しくカーブのところであまり回れなくて転んだり、急な道でしっかり止まることができなかつたりしました。そして三日目には、カーブで転ばずに回れるようになり、長い道でも転ばなかつたり、急な道でもバランスをとって滑ったりできるようになりました。

スキー教室を通して、助け合うことやできないと思わずにチャレンジしてみるなどさまざまなことを学びました。この経験を普段の学校生活や来年の修学旅行などに生かせるようにしたいです。

【春が近い】

2月3日(金)は節分でした。節分とは季節をわける節目となる日のことで、4日は立春、暦の上では春となります。旧暦だと今は1月中旬頃でしょうか。年賀状に書く「新春のお慶び申し上げます」も春の匂いや雰囲気を感じ始めた人たちの素直な思いだったかもしれませんね。

今までは夕方5時を過ぎると真っ暗だったのに、少しずつ暗くなるのも遅くなってきました。春が近づいているのを感じます。最近あまり感じられませんが、日本は四季がはっきりした国です。そのため古くから季節の変わり目や節目を大切にしてきた呼び方が多くあり、今もその名残がたくさんあります。

忙しいと季節の移ろいや時の流れに気づかず通りすぎてしまいがちですが、大切にしていきたいものです。ちなみに我が家の子ども部屋のカレンダーは1月の次に3月をめくり、その次は8月、そしてその次は12月30日に4枚まとめてめくりました。いかに自分に余裕がないか心底びっくりした出来事です。今年是这样ならないよう、時の流れをしっかり感じていきたいものです。



進路について No.11 『内申点とは?』

たびたび聞く内申という言葉。内申とはなんでしょか。実は正式には調査書点という言い方をします。調査書とは「教科の学習の記録」「諸活動の記録」「学習の記録」「出欠の記録」「健康の記録」等が記載されているものです。

「教科の学習の記録」に3学年の1学期と及び2学期を平均した成績を調査書点として出しています。私立高校の場合には、1~5の評定を足した合計点がいわゆる内申となりますが、都立高校の場合には、学力検査を行わない4教科を2倍するので、換算内申といいます。

都立高校の場合

例 二中太郎さん

換算内申+当日の学力テスト+ESAT—J(今年度から始まったスピーキングテスト)=その人の得点

太郎さんの換算内申は47なので、これをある計算式で300点満点中何点になるかを算出して、当日の学力検査の点数と合わせていきます。その計算方法はまた次回お知らせします。

国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	素内申 (合計したもの)	換算内申
4	3	5	4	3	3	3	4	4	33	4教科を2倍 $14 \times 2 = \underline{28}$
5教科 計 <u>19</u>					4教科 計 <u>14</u>					5教科 <u>19</u> を足すと $19 + 28 = \boxed{47}$

私立高校の場合

内申を合計したものを採用します。私立高校の場合は換算内申ではなく、素内申となります。

学校によって3教科、5教科、9教科のどれを問うかは異なります。受験をする学校によって違います。3科&5科という学校もあれば、どこかがクリアしていればいいという学校もあり、それも学校によってさまざまです。

下の表で行くと太郎さんは、D高校の出願の資格は得ているということになります。

私立高校の場合、以前お知らせしたフリー受験以外は、この内申が、各学校が定めている数字よりも上回らないと出願をすることができません。

	3科	5科	9科
A 高校	14	23	39
B 学園	13	21	37
C 高校	—	—	男子36 女子38
D 高校	12	19	33

受験のシステムは毎年変更されているので、我々教員も3年ぶりに3年生を受け持つと、以前のものと違っている!と思うことも少なくありません。ですので、兄弟や姉妹などいらっしゃるご家庭は、お姉ちゃんの時はこうだったのに!やお兄ちゃんの時はこれで良かったのに、と思うことも少なくありません。

情報収集が鍵を握ると言われることも多いので、今のうちから希望する学校の情報を集めておくことや、都立高校の受験のシステムを知ることが大事になってきます。わからないことがあればいつでも担任や学年にお尋ねください。